

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論Ⅷ （家庭訪問演習）	4年次 前期	必修	演習	1単位（30時間）	佐藤 美恵子 ※
授 業 概 要					
公衆衛生看護学方法論Ⅶで学んだ知識と技術を用いて「家庭訪問」の展開について、市町村における実際の訪問場面を想定した演習を通して学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 家庭訪問における生活環境のアセスメントができる。 2. 初回訪問における訪問のポイントがわかる。 3. 家庭訪問における臨床判断を適切に実施できる。 4. 家庭訪問を拒否している対象者へのアプローチの仕方がわかる。					
実務経験のある教員					
佐藤 美恵子・原澤 由美子・篠田 浩子・池田 由貴・外部講師： 市町村での現場経験を踏まえ、公衆衛生看護で行われる家庭訪問の技術と展開方法について、実際の訪問場面を想定した演習を行う。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-2	1. 演習オリエンテーション 家庭訪問の展開過程の復習 演習事例の訪問計画、保健指導のポイント				外部講師
3-15	2. 家庭訪問演習① 3. 家庭訪問演習② 4. 家庭訪問演習③				外部講師 佐藤 美恵子 ※ 原澤 由美子 ※ 篠田 浩子 ※ 池田 由貴 ※
学 習 方 法					
演習、グループワーク					
評 価 方 法					
演習の実施、提出物、演習時の取り組み姿勢・態度等を「演習評価表」を用いて評価する。 （具体的な評価項目は初回講義時に提示する）					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
[教科書] 公衆衛生看護学.jp 荒賀直子 インターメディカル					